

令和元年12月13日

農林水産部長 今野 憲太郎 殿

営業戦略農林水産委員会	委員長	加藤	藤橋	明勝	良則
	副委員長	高海	野村		透
	委員	半飯	塚岡	秋恒	登男
	同	山	上	典隆	夫
	同	村	本	詠美	司
	同	坂	樂	子	
	同	設	村	けい	
	同	田			

対米輸出に対応した牛処理施設整備計画の見直しと今後の対応について

株式会社茨城県中央食肉公社において整備予定であった対米輸出に対応した牛処理施設整備計画の見直しについては、非常に遺憾である。

政府が和牛の輸出に取り組む方針を示し、本県も常陸牛の新たな販路開拓に取り組むなど、積極的な施策展開を進める中では、より高品質で衛生的な食肉を提供できる近代的な食肉センターの整備にスピード感をもって取り組む必要がある。

このようなことから、下記に留意のうえ、食肉センターの整備等について特段の配慮をされるよう要望する。

記

- 1 今回の計画見直しは、事前検証を十分に行えば予見可能だったものと考えられることから、今後このような重要なプロジェクトの推進にあたっては、十分な検証を踏まえて事業化の判断を行うこと。
- 2 株式会社茨城県中央食肉公社における新たな施設整備に向けて、県からの指導を徹底し、早急に累積損失の解消を図るなど経営改善を進め、大規模な設備投資に耐えうる財務体質を構築すること。
- 3 本県の肉用牛・養豚農家の所得を向上し、畜産業の振興を図るため、県内において高度な衛生管理基準を導入した食肉センターの整備を支援するなど高品質な食肉供給体制の構築に取り組むこと。

以上